

緑 風

校訓 継続は力なり



鴻巣市立吹上中学校

教育目標

- ①進んで学ぶ生徒
- ②心豊かな思いやりのある生徒
- ③たくましい生徒

令和3年7月1日 第4号

三兎を追う者

校長 岡田 英行

1学期最後の月となり、もう少しで夏休みです。3年生は進路選択が現実問題となり、1・2年生も興味関心や活動の幅が広がって“やりたいこと”と“やらなければならないこと”ばかりです。『二兎を追う者、一兎をも得ず』とならないよう、何か1つに専念した方が成果を得やすいのかもしれませんが、しかし、一生の中でもスポンジのように吸収力に富む年代ですから、実にもったいないことです。酷なようですが、ぜひ、中学時代でなければ経験できない『学習』『部活動』『行事』の三兎を追ってください。



学習

何といても、中学生の本分は学習にあります。今年から全面実施となった新学習指導要領では、児童生徒が身に付けるべき力を下の3つに整理しています。したがって、通知表の各教科の評定は、この3つの観点を踏まえて5段階で示されます。

- ①知識・技能 …何を理解しているか、何ができるか
- ②思考力・判断力・表現力等 …理解していること・できることを、どう使うか
- ③学びに向かう力・人間性等 …どのように社会や世界と関わり、よりよい人生を送るか

部活動

吹上中では部活動全員加入とはしていませんが、ほとんどの生徒がいずれかの部に所属して活動しています。練習を通じて技能を高めるばかりでなく、忍耐力や向上心、持ち場で役割を果たす責任感、仲間との連帯感を培えるのが部活動の良さです。また、上級生・下級生との親密な交流があり、現代においては数少ない異年齢体験の場でもあります。夏休みが終わると約1か月で新人戦となり、1・2年生の新チームがデビューします。

行事

卒業間近の3年生に中学校生活の思い出を聞くと、多くは体育祭や修学旅行、音楽祭等の学校行事と答えます。通常の授業では得られない達成感や仲間との一体感が、深く心に残っているようです。また、昨年度実施した学校教育に関するアンケートでは、学校行事の意義について全学年の保護者が第一に挙げていたのが「みんなと協力して一つのものをつくりあげること」でした。行事を通して友達との距離がグッと縮まり、日常に張り潤いが生まれます。



おかげさまで開校75周年 ③

平成24年7月30日は、本校のサッカー部が学校総合体育大会の県大会で見事に優勝し、関東大会出場を決めた日です。地区大会を勝ち抜いて県大会に出場するだけでもかなり難しいことなのに、さらに県下公立中学400校の頂点に立ったのはとてつもない快挙です。どうすればそのようなすばらしい成績を収められるのか、当時のサッカー部の顧問だった先生に伺ってみました。

「夢のような大きな目標」「練習メニューの工夫」「強豪校との練習試合」等々、話は尽きません。中でも「これは」と思ったのが、サッカーに取り組む真摯な姿勢でした。「決めたことをやりきる」、つまり校訓“継続は力なり”を実践することで意欲は自信に変わっていったといいます。さらに大きな支えとなったのが、校内の他の部の存在だったそうです。全国や県上位を目指してお互いに刺激し合うことで学校全体に活気がみなぎり、全校集会では挨拶の声が体育館に響き渡ったのが忘れられないと話してくれました。その頃には及ばないかもしれませんが、現在の吹中生の元気な声もなかなかのものです。再び快挙が達成される日も、そんなに遠くではないかもしれません。